

令和3年度第6回臨時  
松本市教育委員会会議録

松本市教育委員会

## 令和３年度第６回臨時松本市教育委員会会議録

令和３年度第６回臨時松本市教育委員会が令和３年１１月２９日午後５時００分オンラインで開催された。

---

令和３年１１月２９日（月）

---

### 議 事 日 程

令和３年１１月２９日午後５時００分開議

第１ 開 会

第２ 教育長挨拶

第３ 議 事

#### [議案]

第１号 令和４年成人式の新型コロナウイルス感染防止対策の強化について

教 育 長 伊 佐 治 裕 子

〔出席委員〕

|          |         |
|----------|---------|
| 教育長職務代理者 | 小 柳 廣 幸 |
| 教 育 委 員  | 橋 本 要 人 |
| //       | 佐 藤 佳 子 |
| //       | 春 原 啓 子 |

〔出席職員〕

|                    |         |
|--------------------|---------|
| 教 育 部 長            | 藤 森 誠   |
| 松 本 市 保 健 所 長      | 塚 田 昌 大 |
| 教 育 政 策 課 長        | 赤 羽 志 穂 |
| 学 校 施 設 担 当 課 長    | 丸 山 丈 晴 |
| 生涯学習課長 兼<br>中央公民館長 | 高 橋 伸 光 |
| 生涯学習課<br>青少年ホーム所長  | 中 村 三重子 |

〔事務局〕

|          |         |
|----------|---------|
| 教育政策課    |         |
| 教育政策担当係長 | 三 澤 良 彦 |
| 教育政策担当係長 | 小 澤 弥 生 |

《開会宣言》 午後5時00分

伊佐治教育長は令和3年度第6回臨時松本市教育委員会の開会を宣言した。

教育長 定刻となりましたので第6回臨時教育委員会を開催します。

今日はお忙しい中、夕方からという開催になりましたけれども、成人式の関係で、ご協議をいただきます。

はじめに、先日の教育委員会の中で速報ということでご報告をしました学校の校庭等にあります石碑等の安全点検の結果ですけれども、点検がすべて終わりました、その結果を共有ということで、冒頭で報告をさせていただきますのでお願いいたします。

学校施設担当課長 先日の教育委員会の段階では、石碑等の安全点検の結果、2校で3件というご報告をさせていただきました。その後、各学校からの調査の結果、11校で16件の報告がありました。その16件のうち、すでに7件は対処が完了しております。残り9件が今後対応していくところですが、現在、安全対策をとって、それぞれ業者への見積りを依頼しています。その16件のうちの内訳ですが、石碑、モニュメントの像などが9件、グラウンドにある国旗掲揚塔のポールが2件、鉄棒の遊具が1件、その他4件です。

今回は長野の事故を受けまして、これまで以上に日常の点検をしっかりやっていくように各学校に依頼したところです。

教育長 この件については、引き続き緊急性の高いものから対応していきますので、ご協力をお願いしたいと思います。

ご質問などございますか。

よろしいですかね。

《署名委員尾指名》

教育長 本日の会議録署名委員は、小柳委員と橋本委員にお願いします。

《議案審議》

教育長 それでは、本日の議事に入りたいと思います。

前回、抗原検査キットによって、対策を強化する必要があるのではないかとということで橋本委員からご提案がありました。このことについて再度市長部局

と担当課が協議をしまして、最終的には、今日、オンラインで参加をいただいています松本市保健所の塚田所長とも相談の上、このような原案を考えましたので、改めて今日協議いただくものになります。

<議案第1号> 令和4年成人式の新型コロナウイルス感染防止対策の強化について

生涯学習課長 議案第1号「令和4年成人式の新型コロナウイルス感染防止対策の強化について」説明

教育長 補足をさせていただきますとこの抗原検査キットですが、前回も新たに購入する場合には予算がかかってしまうというお話がありましたが、健康福祉部に国からのキットがあるということで、希望者の方への配布用として、それを活用させてもらうことになりました。

国の資料をお配りしてあると思いますが、ワクチン・検査パッケージの制度要綱が11月19日に示されたということで、このことについて、塚田所長からご説明をいただいて、そのあとご質問ご意見を伺いたいと思います。

それでは塚田所長お願いいたします。

保健所長 「ワクチン・検査パッケージ制度要綱」説明

教育長 ありがとうございます。

最初に2点確認ですけれども、資料の6ページにあります④の検査キットのことですが、薬事承認されたものを使用するとありますが、健康福祉部にあるものはこの薬事承認されたものということでよろしいですか。

青少年ホーム所長 はい、そうです。

教育長 もう1点ですが、4ページに戻しまして、ワクチン接種証明ですが、①の2行目からの「2回目接種日から14日以上経過していることを確認する」ということなので、ワクチンを接種したばかりの方は駄目ということですか。2週間以上経っていないというところ、塚田所長にお聞きしたいのですが。

保健所長 そうですね。この要綱に合わせるとしますと、2回目接種からの抗体が確実に定着する期間というのが一般的に14日以上とされていますので、確実なワクチンの効果をもって証明ということになると14日以上経過の確認は必要だということになってくると思います。

教育長 わかりました。では、そのようなことを明記してご案内をしていくというこ

とになりますね。

それでは以上のことを前提に、ご意見ご質問お願いいたします。

橋本委員      ご説明ありがとうございました。ここ数日の状況がかなり変わってきていて、オミクロン株の話が出てきて、重要なことは、今までの株に比べて、無症状感染が多いのではないかということが言われています。そうすると、無症状感染の観点で言えば、チェックシートなので無症状であれば、全然チェックしきれないですし、まだオミクロン株の場合は今後どういうふうに展開するかよくわかりませんが、そういうリスクも含めてやはりチェックシートだけではなくて、今回出していただいたような形で、抗原検査キットにしる、何らかの形で科学的にリスクを低減する措置をとるということが、ぜひとも必要だと思います。その上で、所長にお伺いしたいのですが、今の案だと希望者だけという形ですが、先ほどお話があったように、早く接種した人は抗体量が減っていますよね。そうすると、ただ、ワクチン接種をしましたといっても、ブレークスルー感染もあるわけですから、基本的に全員がやる必要はないのか。希望者だけで、希望していない人はやらなくていいのか、この点をお伺いしたいです。

保健所長      この判断は、非常に難しいところがあるかと思うんですけども検査でどこまで広げてやれるかということもあるということと、先ほど私が申しあげたようにある程度体内でワクチン量が増えてこない、抗原検査キットでは引っかからないということになると、少しでもワクチンの効果があると、無症状であるという時点で、この検査キットでは引っかからないという可能性のほうが大きいという部分もあると思います。その辺のところをどう理解して、全員にやるかということになると、まず一つは、ある程度ウイルス量が多くなる可能性があるワクチンを打っていない人に対しては検査パッケージをやる。そして、逆にそれ以外の打っている方に関しては、このワクチン接種証明で認めていくということも一つの考え方ではないかなと思います。もちろん、全員にやることは意味のないことではないと思います。

橋本委員      そこはですね、ワクチンの2回目接種をしてから14日間ということのリスクと、それから14日経ってなくても2回目の接種後はある程度抗体量が増えていて、14日経過すればマックスになるだけであって、むしろそれよりは、打ってからすごく時間が経って抗体量が下がっている人の方がリスクが大きい

のではないかと考えています。この点について所長のご意見をお伺いしたいのですけれども、ある程度ウイルス量がないと抗原検査では引っかからないということですけど、ウイルス量が多い方が感染力は、通常高いですね。そうすると、引っかかる人は少なくともウイルス量が多くて感染力が高いということになるので、そういう意味でも確実にリスクを排除できると考えていいのではないかと思います。パーフェクトかと言われるとそうではないかもしれないけれど、主催者としてリスクをミニマイズする努力をどれだけしたかということが求められると思います。つい先日までのようにずっと感染者がゼロという状態が続いていれば、多少皆さん緩むかもしれませんが、ここでまた再び上がってくるような局面になった場合、最大限の対応策を講じるということが必要ではないかと思いますがいかがですか。

保健所長      橋本委員がおっしゃるように、これで引っかかれば必ずスクリーニングにはなりますので、全員やれるということになれば、確かにウイルス量が多くて特に感染力の強い人は、会場に入れないってことに関しては、対応できると思いますので、そういった点では全員に要請するかどうかは別として希望者に配布できればその形も、一つのリスク低減策ではあると思います。あとはそのキットがそこまで確保することができるか、或いは予算的な対応ができるかどうかというところが一つの判断のポイントになるのではないかなと思いますので、公衆衛生上の対策としてそこまでできれば、かなり安心感が出てくるかと思います。

教育長      他の方はいかがでしょうか。ご意見、ご質問ありませんか。

小柳委員      要望ですけれども、案内を送付する際に、参加者がやり忘れることがないように、参加者がしなくてはならないことをわかりやすく伝えていただきたいと思います。さらに、やっていただくことを徹底するために印象強く伝えていただくような工夫をしていただきたいと思います。例えば、2週間前までに接種するとか、チェックシートを作成するとか、その他様々な留意事項があると思いますので、わかりやすく徹底してもらえるような案内をお願いします。そうすることで、当日受付でのトラブルが回避できるのではないかと思います。

教育長      ありがとうございます。他のお二人はどうでしょうか。

佐藤委員      先ほど、塚田所長からお話のあった数の上で、そのキットを調達すること或

いは予算の上で調達することはどれぐらい可能性があることなのでしょうか、あるいは模索することが可能なのでしょうか。

青少年ホーム所長 健康づくり課に確認したところで言いますと今、4,000個確保していて、担当課としては、第6波に備えているということですが、当初、こちらとしてはワクチン接種をしていない方ということで考えていますので、1,000個ほど確保できればいいかなと思っていましたが、全員となるとまた担当課に確認してみないといけないと思います。

佐藤委員 ありがとうございます。それを模索する模索できる可能性はあるということでしょうか。担当課との調整をするかどうかということも含めてですが。

橋本委員 それは当然、可能だと思いますよ。成人式は教育委員会単独で開催するのではなく、松本市と共同で開催するわけですから、教育委員会としてこういう意見が出ているということを市長に伝えて、最終的に予算面も含めて市長がどう判断するのかだと思います。教育委員会としてはこういう形でお願いしたいと出して、最終的な判断は市長の責任においてされるわけだから、教育委員会としてはやるべきことをやり、意見をきちんと言えればいいのではないですかね。

教育長 佐藤委員よろしいですか。

佐藤委員 はい。

教育長 福島委員、ありますか。

福島委員 小柳委員と一緒に、やはり丁寧な説明ということが必要かなとは思いました。それで、やっていただかないと会場には入れませんよということを徹底しないと、いろいろな混乱に繋がってしまうと思いますので、そこは、やり方を工夫していただければと思います。

橋本委員 確認ですけど、この成人式のためにPCR検査を実施する人について、補助する用意がありますか。

それから2点目に、会場の入口に検温器を用意して、一定の体温以下でないと入場を認めない対応があるのかどうかについて、触れられていないのでこの2点についてお願いします。

生涯学習課長 PCR検査については、現時点では、すみません考えていません。検温については、当然やっていく予定になっております。

橋本委員 それは、基準はわかりませんが、37度以上の人は入場をお断りしますと



いうように、明示されるわけですね。

生涯学習課長 その予定でいきたいと思います。

教育長 塚田所長、だいたい37度が目安ということになりますでしょうか。

保健所長 平熱が高い方もいらっしゃるので、37度だと少し厳しくなるかもしれないので、37度5分がまず一つの目安かなと思います。

教育長 わかりました。ほかにご質問等ありますでしょうか。

それでは今の論点で、最終確認をしなければいけない点が、国から示されたワクチンと検査をパッケージにして、両方併用していくという方法になりますが、先ほど橋本委員から出された意見ですと、検査キットを全員に配る、或いは希望した人に全員配るということだと思いますが、その点についてはいかがでしょうか。

というのは、通知を出した全員の方が出席されるとは限りませんので、通知を出す際に、出席をされる方は必ず検査していただくことが必要になりますとするか、それとも、この国の示したワクチン・検査パッケージを原則に、これに準じていくなれば、ワクチンを打った人プラス、検査とするか、そのどちらかになると思うんですけれども、いかがでしょうか。

橋本委員は全員するべきだということですね。

橋本委員 できればその方が、リスクは低減できると思いますが、これは予算の問題もあるので、その最終判断は、市長がお決めになればいいと思います。

教育長 他の委員さんはいかがでしょうか。

佐藤委員はいかがですか。

佐藤委員 そうですね、例えば、松本市から検査キットを渡すとしてどのような方法で渡すのか、或いは市販のもの、ネットで買えるものでも可能かということかと思うのですが、その辺、おそらく費用面での負担、手間の負担というところを、本人や保護者の方々は感じる場所もあると思うのですが、それもなかなか判断が難しいところで、その時の状況が、どういう状況にあるかっていうところによると思います。ただ、今日の零時で、海外からの入国もまたすべてストップしていくということを考えると、前回の教育委員会の協議の時とはやはり状況が変わってきているとは思いますが、なので、すみません、なかなか判断が難しいと思います。通知を出すのは、どのタイミングなのでしょう。もう一度

確認させてください。今現在、ホームページでは、「11月中旬にお送りするご案内通知に詳しい情報を記載しております」とあるのですが、すでに中旬を過ぎているのですが、この決議が取れたらすぐにということでしょうか。

青少年ホーム所長 成人式をやりますという通知は、もう送ってあります。

佐藤委員 出席に関する注意事項というのはそのことなのですね。

青少年ホーム所長 そうですね。ご案内の通知とチェックリストはお送りしています。

佐藤委員 なるほど、では今回、もし依頼するとすれば、追加で依頼を出すという形になるのでしょうか。

青少年ホーム所長 はい。そのとおりです。

佐藤委員 ありがとうございます。あともう一つ、チェックシートに関しては、忘れた場合は参加できませんと明記をしっかりと赤字でされているかと思いますが、例えばですが、忘れた方へ、あるいは当日までに入手できなかった方に会場に予備のものを準備することも可能でしょうか。

青少年ホーム所長 それは考えております。

佐藤委員 はい。その上で考えて、決を採っていただけたらと思います。

教育長 他にはいかがですか。今の、全体に網をかけるかそれとも、ワクチンを打った方以外の方だけに検査をしていくかということについてはいかがでしょうか。

小柳委員 私は希望者でいいのではないかと思います。ワクチン接種をした人やPCR検査をした人では希望する人がいないのではないと思うからです。

教育長 小柳委員は、政府の検査パッケージにあるやり方でいいのではないかということでもいいですか。

小柳委員 はい、そうです。

佐藤委員 どうなんでしょうか。やはりワクチン接種した方であっても、そこは希望があれば、お渡しした方がいいのではないかと思います。2回ワクチンを打っていても、20代の方でブレークスルー感染していらっしゃる方もいるので、希望があれば、2回接種しているかどうかにかかわらず、希望とするのであれば、ぜひ希望する全員ということでもいいのではないかと思います。

教育長 はい、わかりました。

橋本委員 PCR検査を補助も出さずに、自己資金で成人式に出る3日以内のところで、PCR検査をやってから成人式に出てくるという(2)のPCR検査結果は、

現実的ではないと思います。ということは、ワクチン接種証明書か、ワクチン接種をしていない人は抗原検査キットで検査してくださいということが一つで、今の小柳委員がおっしゃっているようなワクチン接種をした人は希望しないかもしれないという形になると、抗原検査キットを使う人は、基本的に、ワクチン接種をしていない人になりますよね。そこで私はそれだと少し弱いのではないかと考えています。ワクチン接種をしていたとしても時間が経てば、抗体量は減少するし、ブレークスルー感染もあるし、そういう意味では、直前のところで、ブレークスルー感染でも、抗体量が上がっている人がいるならばそれは排除した方がいいという意味合いにおいて、リスクということに着目して、お金の面を考えずに言えばやはり全員に配るべきだと思います。

教育長 福島委員はいかがでしょう。

福島委員 そうですね、実際その成人式の直前の状況がどうかということと関連してしまいますけど、例えば、長野県内で、今の状況でワクチン接種が2回済んでいれば、抗原検査はしなくてもいいのかなと考えるのですが、ただ、やはり状況によっては、それも必要になるかもしれないとも思うので決めがたいです。

教育長 塚田所長にお聞きしたいのですけれども、政府が11月19日に出したこのワクチン接種が済んでいない方についてはPCR検査か抗原検査キットで、証明をしていくというこれルールで松本市がやるとしたらこの成人式が初めてになるかもしれないのですが、今回抗原検査キットで、全部網をかけていきますということになると、今後、違うイベントを実施していく上で、それが松本市のスタンダードになってしまうようなことはないでしょうか。というのは、ワクチンを打っている場合のリスクという橋本委員がおっしゃることもわかるのですけれども、一定程度ワクチン接種をしていることを、安全性のリスクの軽減ということととらえているので、多分このパッケージができていると思うのですが、私としてはその点が気になっています。もちろん、先ほどの希望する方ということではなくて、出席される方には、基本的には抗原検査キットを全員に配って、出席したいという人にはその結果を持ってきてもらうということだと、安心ということはあると思うのですが、その辺は塚田所長いかがでしょうか。

塚田所長 まず1点目として、今回の成人式に関してはその時点で緊急事態宣言とかが出ていなければ、厳密に言うところのパッケージを適用にするイベントではないとい

うところがあるので、ワクチン・検査パッケージにとらわれず、市の成人式としてまず考えるという余地はあるかなと思います。その上で、ワクチン接種の追加対策として、ワクチン・検査パッケージをどう捉えるかというところですけど、リスク回避をどこまでレベルを下げるかというところでいくと、まずワクチンを打っているか打っていないかでいうと、まず打ったという人は、そうは言っても、打っていない人よりはリスクが下がっている。その事実をもって、リスク回避されているワクチンを打っている人には、検査をしないということもリスクをどこまで下げるかという観点の中では、一つ議論できるところかなと思います。ただ、この状況下においてワクチンを打っていない人に関しては、やはり今まで無防備であったという状況になると、このリスクをある程度見つけ出すためには、こういう検査をやる意味というのはワクチン接種者以上には意味があることだろうと思いますので、リスクをどこまで回避するかということとどこまでリスクが捕まえられるかという観点でいうと、ワクチン接種者さんに関しては、先ほど申しあげたように、なかなかウイルス量が上がってこない可能性もあり、見つけ出す可能性は少なくなってくるので、そこにどこまで、リスク軽減の対策として捉えるかという考え方で判断されるということになると思います。

橋本委員　今の所長の話は非常によくわかります。それから、教育長がおっしゃったように今回の成人式が他のイベントにどういう影響を及ぼすのかということも大変重要なポイントだろうと思います。ただ、成人式の最大のポイントは、半分が県外から参加するということです。未だに県民割をやっていたりしますけど、これは県内の人を対象なので、少なくとも県外から参加する人には、抗原検査の結果を持ってきてもらうという形にした方がいいのではと思います。

教育長　それでは、今の意見をまとめたいと思います。基本的には、ワクチンを打った方ということが先ほどありましたけれども、県外から来た方のリスクということを考えて、県外から来る方は、できる限り抗原検査キットでリスクを軽減して入ってきてもらう。それを市民の方にも、この成人式を中止せずに行っていくことの安全性の説明にしていこうというようなことが必要かと思いました。

ですので、改めまして、検査キットが、いくつまで健康福祉部から提供してもらえるかということは、この後相談をしていくことになるんですけども、基本的には、ワクチンを打っている県内の方については、そのワクチン接種証明を持

ってきてもらえばよい、県外の方、ワクチンを打っていない方については、抗原検査キットの結果が必要になるというルールで行っていくというのはいかがでしょうか。もう一度申しあげます。県内の方と、県外の方と分けて、県内の方で、ワクチン接種を打った方は、その証明を持ってきてもらえばよい。県内の方でワクチンを打ってない方は、抗原検査キットで検査してもらい、そして県外の方については、ワクチンを打ってある、打ってないにかかわらず、抗原検査キットをお送りして、それを持ってきてもらうという整理でいかがでしょう。

それでよろしいと思う方は、挙手をお願いします。

小柳委員どうですか。

小柳委員 判断しかねています。県内と県外を分けるということでもいいのかなと思っています。県内の人も県外に行ったりしていることを考えると、県内と県外で分けることがどうもしっくりこないです。

教育長 そうすると、その代替案はどんなことになりますか。

小柳委員 先ほど申しあげたように、希望する方に実施していくということです。

教育長 希望者というのは、ワクチンを打ってある、打ってないにかかわらずということでしょうか。

小柳委員 はい。先ほどのお話でいくと、効力が落ちてくるから、打った人であっても希望する人はいるだろうという話がありましたので。

橋本委員 成人式をやるということで、わざわざ県外から来るわけですね。なぜ、わざわざ松本に来るかといえば、そのトリガーは、この成人式であって、そのトリガーを引くためにそのリスク低減を図る必要があるという考え方だと思います。

教育長 ということの説明ですが、小柳委員いかがですか。

小柳委員 わざわざ松本に来る人にリスクがあって、松本にいる人はそうではないということですか。

橋本委員 そういうことではないのではないですか。

佐藤委員 以前であれば、やはり2週間以内に県外に出た方、或いは感染が拡大している地域に出た方に関しては、チェックが必要ということだったかと思うのですが、そういう仕組みもひょっとしたら必要なのかなと思いますが、年末年始は非常に移動が多いと思います。実は私も年末にどうしても東京に行かなければいけない用事があるのですけれども、やはりそういった方達も対象として出てくるのでは

ないかなと思います。

教育長       わかりました。基本的には私も県外ということが、市民にとって一つのリスクとして判断されるということがあると思います。これが年末に向かって、感染者が増えてきたときに、一定程度やはり県外へ出かけたりとか、県外から入ってきたりする方が、市民にとってのリスクと判断される、そのことが先ほど、県内と県外と分けると申しあげたその理由になると思います。その点では、今佐藤委員からありました、ご自分が例えば感染リスクを伴うような地域に移動した場合は、最初にPCRのことがありましたが、PCR検査の結果を持ってきていただくという方はどちらかというと、そういう方を想定をしてPCR検査ということが入っていたかと思います。そういう方は、自主的に自分が例えば職場とかでPCR検査の結果を出さなくてはいけないということで受けている人もいますので、その結果を出してもらってもいいですよということです。それに代わるものとして、例えば2週間以内に県外との往来があった人は、この抗原検査キットの結果を持ってきてくださいということを添えて出すということも一つの方法かと思います。

      ですので、基本的には先ほど申しあげたように、県内と県外とをまず分けて、県内の方についてワクチンを打っていない方はキットを使っただけ。そして、県外の方については基本的には、キットで検査をしてきていただく。それプラス、今お話がありましたように、県外への移動したことが2週間以内にある方は、できる限り抗原検査キットを使って、検査をしていただく。自主的に申請をしていただいている部分はあると思うんですけども、一定程度そのリスクの軽減の網をかけて、感染拡大する時期になったとしても、市民の皆さんに安全を保証していく、その説明を果たすということにはなるかと思いますので、そういった方法でいかがでしょうか。

教育長       塚田所長、今のような方法でいかがでしょうか。

保健所長       直前にぎりぎりの判断がどこまでできるかですけど、例えば、今全国的にはほとんどいない状況で、仮にこれが続いた場合、確かに県内、県外を分けることはむずかしいかもしれないですけど、やはり年末年始の動き以降で、この地域からという特定が、今までもまん延地域からの移動はということで県も周知しているところがあるので、そういう地域の方はというぐらいになると、もし

かしたら説得材料になるのかなと率直に思うところはあって、やはり感染地域がばらついているところに一律となると、少し説明も難しいところが正直あるかなと思うので、ただそれが直前の判断で周知できるかどうかという煩雑さはあるので、その辺を一つ、検討していただいてもいいのかなと思います。

教育長        この教育委員会が終わった後、市長にも報告をして、そして通知を出すことになると思いますので、今の判断は、今の時点で1月9日の時点の様子を想定して出すしかないと思いますので、直前に変えるということは難しいと思います。ですから、今のよう、地域別のその差というのは、今の時点では想定ができないので、県内と県外という分け方で、一定程度安全策をとっていくという案でいかがでしょうか。

橋本委員        私は異議ありません。

教育長        ほかの委員の皆さんもよろしいでしょうか。

はい、ありがとうございます。

それでは、もう一度整理をさせていただきます。基本的には、この後、通知を出しますけれども、まず、県内の方については、ワクチン接種をした方についてはそのワクチン接種済証明書を持ってきていただく。そして、ワクチンを打っていない方については、申請をしていただいて、抗原検査キットを送ってその結果を持ってきていただく。県外の方については、基本的に出席する方は申請をしていただいて、抗原検査キットを送ってその検査結果を持ってきていただく。それ以外に、2週間以内に県外等に移動した方については、申請をしていただいて、検査キットで検査をしていただいてその結果を持ってきていただく。そこは自己申請に頼ることになるかもしれませんが、そのような内容で案内をしていきたいと思います。そして、案内については先ほどご意見がありましたとおり、当日までにやらなくてはいけないこと、それから当日持ってこなくてはならないもののチェックリストを、わかりやすくご案内をしていくということしていきたいと思います。それから当日の検温でのチェックについては、37度5分、これを超えた方については、当日の入場はできないというご案内をしていく。以上でよろしいでしょうか。

はい、ありがとうございます。

塚田所長、そんなことでよろしいでしょうか。

保健所長

はい。

教育長

ありがとうございました。

それでは、そういった整理をしまして、そして健康福祉部と市長に最終確認をして、通知を出していくということにしたいと思います。

ありがとうございました。

以上で案件は終わりになりますけれども、一点、最後に関連があるので確認をさせていただきます。メールで教育政策課からお送りしましたが、県から11月25日に出されました、感染警戒レベルの基準の改正についての資料になります。こちらについては、資料の2番にありますけれども、ワクチン接種が進んだり、治療法の普及等により、第4波以前と比較をして、新規陽性者に占める入院者及び中等症以上の患者の割合が減少したというようなことがあって、人数要件、具体的には直近1週間、人口10万人当たりの新規陽性者数でこの数をもって、レベルの判断がされていました。そのレベルの判断が、改正で、若干といいますか、倍ぐらいに緩和されているかと思います。ということで、この改正がありましたけれども、前回ご承認いただきました、学校における学校運営ガイドライン、ここでの、例えば感染レベルが4以上になったらこういう制限をしていきますよということについては、変更しないということでご承知いただきたいと思います。何かご質問はありますでしょうか。

橋本委員

飲み薬等の対症療法ができるようになってきたとか、いろいろな状況がありますので、今回それでいいと思います。

教育長

はい、ありがとうございました。それでは、お送りした資料もまた参考にご覧いただければと思います。

それでは、以上で第6回臨時松本市教育委員会を終了いたします。

大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

#### 《閉会宣言》

伊佐治教育長は、令和3年度第6回臨時松本市教育委員会を閉じる旨宣言した。

<午後6時00分閉会>

会議録調製職員

教育政策課教育政策担当係長

小澤 弥生



会 議 録 署 名 委 員

小柳 廣幸

---

橋本 要人

---